

大学健康管理センターだより

平成29年度 インフルエンザ号

インフルエンザの流行に注意しましょう

インフルエンザは例年12月～3月頃に流行すると言われています。
予防に努めましょう！

<インフルエンザの特徴>

頭が痛い、のどが痛い、咳やくしゃみが出る…といった風邪のような症状に加えて、悪寒、38℃以上の発熱、関節痛、筋肉痛などの全身症状が突然現れるのがインフルエンザの特徴です。感染経路としては、飛沫感染、接触感染があります。

	感染経路	主な感染場所
飛沫感染	感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出 ⇒別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込み感染	学校や職場、満員電車などの人が多く集まる場所
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえる ⇒その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く ⇒別の人がその物に触って、ウイルスが手に付着 ⇒その手で口や鼻を触って粘膜から感染	ドアノブ、スイッチ、電車やバスのつり革など

<インフルエンザの予防方法>

- ① 流行前のインフルエンザワクチン接種
(インフルエンザに罹患した場合の重症化防止にも有効ですのでぜひ接種してください。)
- ② こまめに手洗い、うがいをする
- ③ 部屋の換気と適度な湿度の保持(50～60%が適しています)
- ④ 十分な睡眠、休養をとる
- ⑤ バランスのとれた栄養をとる
- ⑥ 流行時は人混みを避け、マスクを着用する



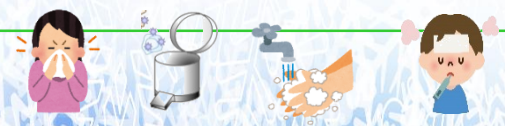
～ 咳エチケット ～

1. 咳やくしゃみが出る時は、ティッシュ等で口や鼻をおさえ、周りの人から顔をそむけましょう
2. 使い終わったティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱へ捨てましょう
3. 咳やくしゃみをした後は、手を洗いましょう
4. 症状のある人は、マスクをしましょう

<インフルエンザのような症状がある場合には…>



- ・ 早めに医療機関を受診する
- ・ 安静にし、十分な睡眠、休養をとる
- ・ 水分を補給する
- ・ バランスのとれた栄養をとる
- ・ 咳エチケットの徹底
- ・ 外出は控え、無理な出勤、登校をしない



<学生の出席停止について>

インフルエンザを発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまでの期間は、**出席停止**となります。インフルエンザ様症状で大学を欠席する場合は、必ず教育研修支援課まで連絡をしてください。

参考：厚生労働省インフルエンザ対策「インフルエンザQ&A」/文部科学省学校保健安全法施行規則

福島県立医科大学は敷地内全面禁煙です。大学健康管理センターでは、現在喫煙している教職員・学生を対象に禁煙サポートを行っております。お気軽にご利用ください。



大学健康管理センター

電話:024-547-1822/1884 ・内線:5260/5263 ・メール:kenkou@fmu.ac.jp ・場所:8号館 2階 東側

開所時間:8:30～17:15(土日祝日及び12/29～1/3を除く)

大学健康管理センターでは、学生、職員の皆さんのからだやことろに関するご相談に応じています。